

雨水貯留施設堆積物排除システム

地下 60m の堆積物を低動力で移送

「雨水貯留施設堆積物排除システム」は、「真空移送システム」を雨水貯留施設向けに応用したシステムで、地下60mの大深度にある堆積物を低動力で地上まで排出します。

堆積物レシーバタンク

ノズルから吸引された堆積物は堆積物レシーバタンクに排出され、更に地上での処理のために搬送されます



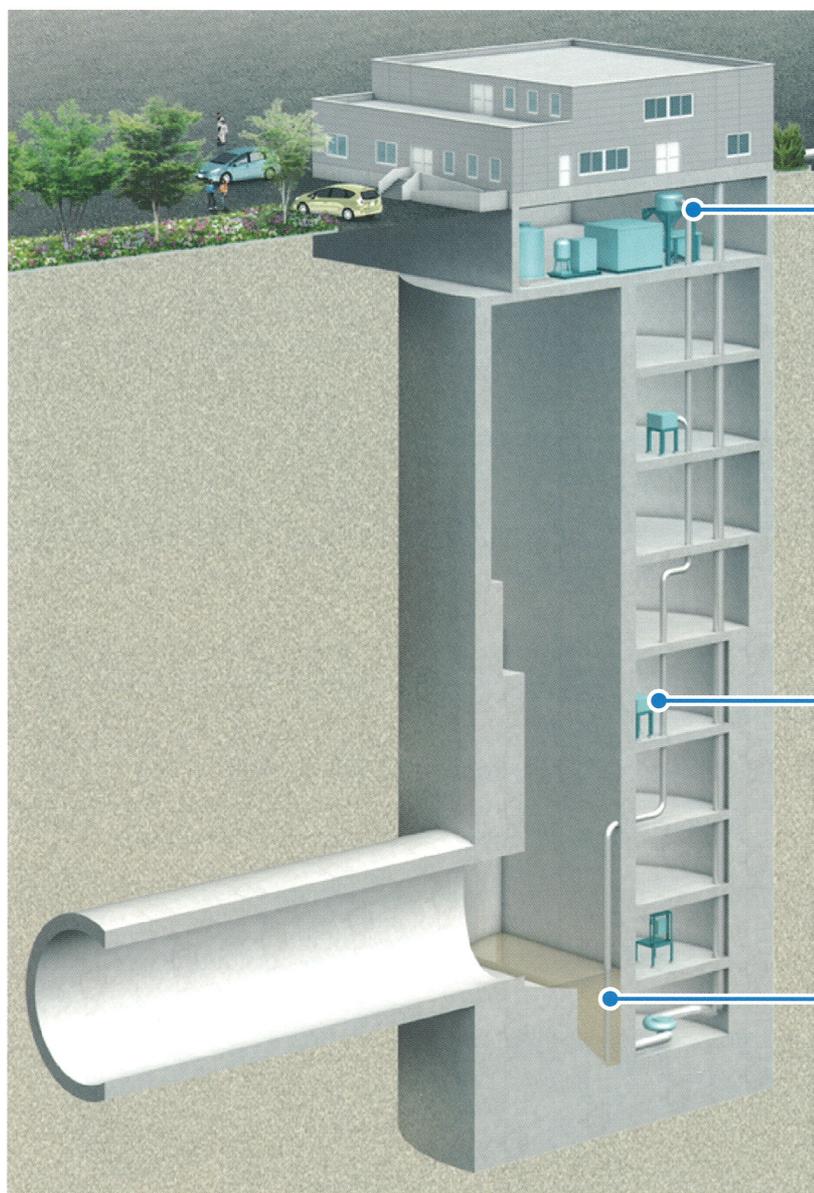
補助装置

堆積物の脱落を防止するため、移送中の水柱を再形成させます



吸引ノズル

沈降した堆積物を吸引するための先端ノズルは閉塞を防ぐ工夫がされています



【参考】

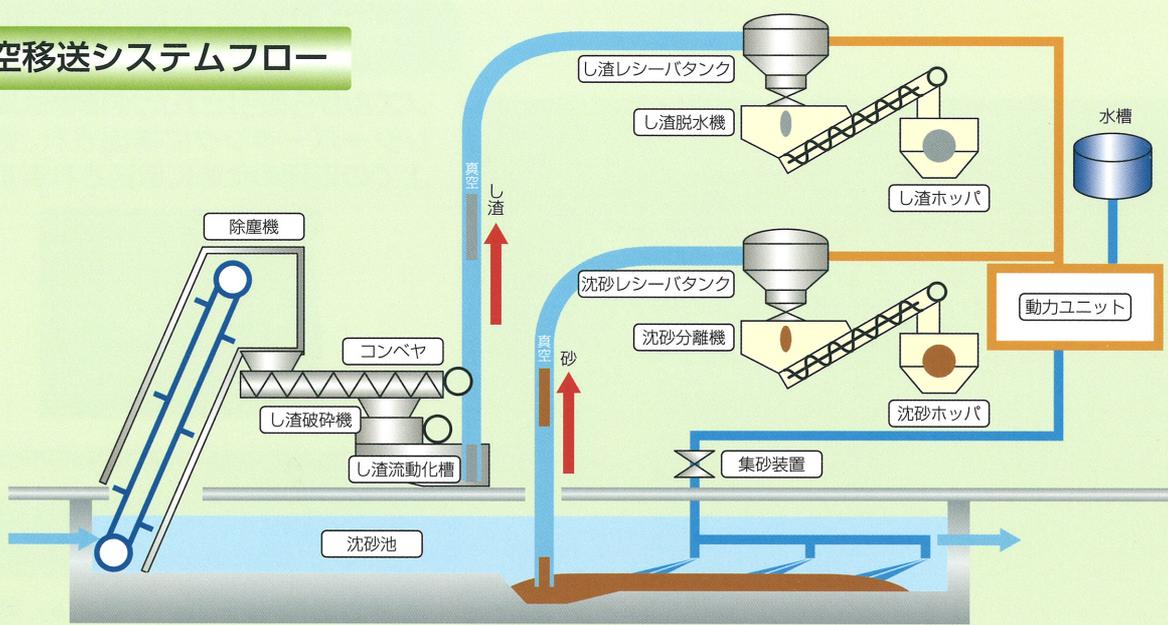
沈砂池設備向け

真空移送システム

真空移送システムは、従来の噴射式揚砂装置に対し、「真空」と独自のプラグ移送方式にすることで低動力・少水量を実現しました。日本国内の下水処理場において、多くの実績があります。

- 下水道技術推進機構 建設技術証明(2008年)
- 第38回優秀環境装置 日本産業機械工業会会長賞(2012年)

真空移送システムフロー



■ 特長

1 効率的な集砂

池底をV溝構造とし、ノズルピッチを小さくすることで少水量でかつ、砂の舞い上がりの少ない効率の良い集砂方式を確立しました。

2 低動力で確実な揚砂移送を実現

真空圧と独自のプラグ移送方式により、低動力ながら高揚程(最大60m実績)を可能にしました。

3 完全クローズドシステム

沈砂池からレシーバタンクまで配管移送なので臭気の拡散や汚水の飛散がありません。

4 維持管理を省力化

水中に駆動部が無いため維持管理の省力化を実現しました。また管内には突起部分がないため閉塞しません。

5 省スペース

バケット+コンベヤ輸送に比べてはもちろん、噴射式に比べても省スペースで狭いホッパ室にも設置可能です。

